

Cisco Integrated Management Controller (IMC) Supervisor

製品概要

Cisco Integrated Management Controller (IMC) Supervisor は、複数のCisco®複数の スタンドアロン サーバ管理のコストを削減し、効率を向上させます。Cisco Integrated Management Controller (IMC) Supervisor を使用すると、1 つまたは複数のサイトに配置されているスタンドアロンの Cisco UCS® C シリーズ ラック サーバ、Cisco UCS E シリーズ サーバ、および Cisco Unified Computing System™ (Cisco UCS) ストレージ サーバを一元的に管理できます。

IMC Supervisor が提供する情報および機能は次のとおりです。

- プラットフォームのハードウェア構成情報と稼働状態
- 仮想キーボード、ビデオ、およびマウス (vKVM) の起動などのサーバ管理
- プログラムによるアクセスのための Northbound API (Representational State Transfer [REST] および XML API)
- ファームウェア インベントリと管理 (非インタラクティブなファームウェア更新)
- ファームウェア更新スケジューラ
- Cisco Call Home (電子メール アラート通知)
- Cisco Smart Call Home
- 電源管理
- システム検出スケジューラ
- 非インタラクティブな診断ツールの統合
- サーバ使用率の統計情報の収集 (Cisco UCS C220 M4 および C240 M4 ラック サーバ)
- ハードウェア プロファイルを使用したポリシーベースの設定 (アドバンスド版ライセンスが必要)

IMC Supervisor を使用すると、1 つあるいは複数のシステムにおけるシステム インベントリ情報や障害の報告など、管理対象のプラットフォームの状況を詳細に把握できます。管理者は、担当するシステム毎や、サービス重要性によってサーバを編成、管理できるように、管理対象のサーバをユーザ定義のグループに割り当てることができます。これらのグループ間およびグループ内で、検索可能なメタデータをサーバに割り当てるために、各システムを 1 つ以上のタグに割り当てることができます。管理者は、電源オン、電源オフ、仮想 KVM 起動など、個々のシステムごとに、基本的な管理作業を実行できます。また、非インタラクティブなファームウェア更新や診断ツールなど、複数のプラットフォームに対する操作もサポートされています。

最新情報

IMC Supervisor リリース 2.1 は、次のような強化された機能を多数備えています。

- Cisco UCS C3260 ラック サーバのサポート
- スケジューラ機能の強化
- 複数の診断イメージのサポート
- 電子メール通知機能の拡張 (サーバごと)

- カンマ区切りフォーマット(CSV)のデータ インポートの強化
- 明確なユーザ オプション
- 複数の KVM 起動
- 新しいネットワーク ポリシー(Cisco UCS C3260 ストレージ サーバのサポートを含む)
- 最新のドライブ構成オプション
- ポリシーおよびプロファイル導入スケジューラ
- REST API の機能拡張
- Cisco UCS C3260 ストレージ サーバ向けプロファイル ポリシー フレームワーク

これらの機能は、ポリシーベースのハードウェア プロファイル機能を含む IMC Supervisor リリース 1.1 の既存の機能を拡張および強化します。IMC Supervisor のコア機能セットを拡張するとともに、プラットフォームの使いやすさを向上させる機能を強化して Cisco UCS C シリーズ、E シリーズ、およびストレージ サーバの管理操作を簡素化します。XML API が提供するプログラマティック REST インターフェイスにより、このプラットフォームと管理対象システムに対するスクリプト処理が可能になります。スケジューラにより、新しいプラットフォームの継続的な検出が実現するとともに、指定した時刻に管理対象システムにファームウェアを導入することが可能です。Smart Call Home の統合により、特定の障害が自動的に Cisco Technical Assistance Center (TAC) に登録されるようにプラットフォームを設定できます。これにより、問題の報告と解決が簡素化されます。

主な機能と利点

表 1 に、Basic ライセンス バージョンの IMC Supervisor の主な機能を示します。

表 1. 主な基本機能 (Basic ライセンス)

機能	説明
サーバプラットフォーム ハードウェアの構成、ログ情報	<ul style="list-style-type: none"> • 個別に各システム毎にログインすることなく、1 つのインターフェイスから複数システム (複数サイトにまたがる場合を含む) の構成関連情報を表示 • システム、プロセッサ、メモリ、電源、PCI デバイス、仮想インターフェイス カード (VIC)、RAID コントローラ、障害発生状況、ログ ファイルに関するデータを提供
ハードウェアの稼働状態	<ul style="list-style-type: none"> • 1 つのソフトウェアで複数のサーバシステムの障害ステータスを単一画面で表示し、あらかじめ用意された視認しやすいグラフと表の画面を使用して障害を特定できる
仮想 KVM 起動を含むリモートでのサーバ管理	<ul style="list-style-type: none"> • 電源オン、電源オフ、vKVM 起動などのプラットフォーム操作を実行する機能を提供
ファームウェア適用バージョンとその管理	<ul style="list-style-type: none"> • 都度の操作を必要としない (非インタラクティブ) な Host Update Utility ツール、および IMC Supervisor 経由ですべてのサポート対象プラットフォームのファームウェアをシスコのサポートサイトからダウンロードする機能を使用した、複数サーバに対するファームウェアのダウンロード、管理、および更新
REST および XML API	<ul style="list-style-type: none"> • サーバ、ファームウェア、プラットフォーム、およびユーザ管理タスクなど、IMC Supervisor で利用可能なさまざまなタスクへのプログラムによるアクセスを実現
サーバの非インタラクティブな診断	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco UCS Server Configuration Utility (SCU) を使用して管理対象サーバの診断を開始し、IMC Supervisor で結果を表示することが可能
Call Home (電子メール アラート通知)	<ul style="list-style-type: none"> • 管理対象のサーバから報告されるエラーを集約してメールで通知する、プロアクティブなユーザへのエラー通知。複数のアラートに対応。サーバグループおよび重大度によるエラーのフィルタリングが可能
Smart Call Home	<ul style="list-style-type: none"> • 管理対象サーバでの Smart Call Home をサポート (管理対象サーバのハードウェア サポート契約が必要)
複数のサーバ検出	<ul style="list-style-type: none"> • IP 範囲、サブネット マスク範囲、カンマ区切り値 (CSV) ファイル、IP アドレス リストなどの複数の検出方法を使用して、1 つ以上のシステムを IMC Supervisor に追加可能
システム タグ機能	<ul style="list-style-type: none"> • メタデータ タグを各システムに割り当てて、ユーザ定義の属性に基づいてシステムをフィルタリングおよびソートする機能
ロールベース アクセス コントロール (RBAC)	<ul style="list-style-type: none"> • 複数の階層からなるアクセス権をユーザに付与し、対象範囲内でシステムを管理する機能

アドバンスド版ライセンス

IMC Supervisor Advanced ライセンスにより、ポリシーベースのフレームワークと IMC XML API を使用してサーバの次の属性を設定できます。

- IMC グローバル管理設定
 - ユーザ管理ポリシー
 - Lightweight Directory Access Protocol(LDAP) 設定ポリシー
 - Simple Network Management Protocol(SNMP) 設定ポリシー
 - Network Time Protocol(NTP) ポリシー
 - IMC ネットワーク設定ポリシー
 - ネットワーク セキュリティ ポリシー
 - 仮想メディア (vMedia) ポリシー
- IMC プラットフォーム設定
 - BIOS ポリシー
 - ブート順序ポリシー
 - 仮想インターフェイス カード(VIC) 設定ポリシー
 - RAID 設定ポリシー
 - ディスク グループ ポリシー
 - IPMI(インテリジェント プラットフォーム管理インターフェイス) over LAN
 - Serial over LAN インターフェイス
 - Cisco Flexible Flash(FlexFlash) 管理

ポリシー フレームワークは以下をサポートしています。

- 既存サーバの設定情報を取り出し、1 つ以上のポリシーとして作成
- 導入済みポリシーを新しいポリシーで削除および上書き
- 1 つ以上のサーバへの単一ポリシーの同時導入
- 1 つ以上のサーバへのプロファイル(複数のポリシー)の同時導入

表 2 に、IMC Supervisor の Basic ライセンス バージョンと Advanced ライセンス バージョンの機能の比較を示します。Advanced バージョンは Basic バージョンのすべての機能を備え、さらに、ポリシーのインポートおよび導入機能とハードウェア プロファイルの導入機能を提供します。

表 2. Cisco IMC Supervisor ライセンスの比較

機能	ベーシック版	アドバンスド版
ハードウェアのヘルス ステータス(モニタリング)	可	可
サーバプラットフォーム ハードウェアの構成、ログ情報	可	可
vKVM Launcher を使用したプラットフォーム管理	可	可
REST および XML API	可	可
ファームウェアの適用バージョンと管理	可	可
Call Home(電子メール アラート通知)	可	可

機能	ベーシック版	アドバンスド版
Smart Call Home	可	可
プラットフォームのグループ化とタギング	可	可
グループの検出	可	可
スケジューリング機能(システム検出とファームウェア管理)	可	可
非インタラクティブな診断ツールの統合	対応	対応
サーバ使用率の統計情報の収集(Cisco UCS C220 M4 および C240 M4)	可	可
ポリシーのインポート		可
ポリシーの検出		可
ポリシーの導入(単一のサーバまたはグループ)		可
ハードウェア プロファイルの導入(単一のサーバまたはグループ)		可
ポリシーおよびプロファイルのスケジューリング サポート		可

システムの最小要件

表 3 に、IMC Supervisor の最小システム要件を示します。

表 3. システムの最小要件

要素	サポートされる最小要件
仮想 CPU(vCPU)	4 つの vCPU
メモリ	12 GB
ハード ディスク	100 GB

IMC Supervisor は、次のプラットフォームをサポートしています。

- Cisco UCS C シリーズ ラック サーバ:ファームウェア リリース 1.5(4) 以降
 - Cisco UCS C3260 ストレージ サーバ
 - Cisco UCS C220 M3
 - Cisco UCS C240 M3
 - Cisco UCS C220 M4
 - Cisco UCS C240 M4
 - Cisco UCS C460 M4
 - Cisco UCS C22 M3
 - Cisco UCS C24 M3
 - Cisco UCS C420 M3
 - Cisco UCS C3160
- Cisco UCS E シリーズ サーバ:ファームウェア リリース 2.3.1 以降
 - Cisco UCS EN120E M2
 - Cisco UCS EN120S M2
 - Cisco UCS E140S M2
 - Cisco UCS E160D M2
 - Cisco UCS E180D M2
 - Cisco UCS E140S M1

- Cisco UCS E140D M1
- Cisco UCS E160D M1
- Cisco UCS E140DP M1
- Cisco UCS E160DP M1

オーダー情報

IMC Supervisor のライセンスおよび保守サービス体系は以下のようになります。

- ソフトウェア基本ライセンス
- ソフトウェア利用条件の同意書
- 1 つもしくはサーバ台数に応じたライセンス(1 ドメインあたり最大 1000 台まで)
- オプション: 保守サポート契約(1 ドメインあたり最大 1000 台まで)

ここにリストされた品番を注文してください。

- IMC Supervisor のライセンス
 - 利用条件の同意書: CIMC-SUP-TERM
 - 基本ライセンス: CIMC-SUP-BASE-K9 または CIMC-SUP-BASE-K9=
- Basic サーバライセンス(最大 1000 台まで)
 - 最大 25 台までの管理対象サーバのライセンス: CIMC-SUP-B25 または CIMC-SUP-B25=
 - 最大 100 台までの管理対象サーバのライセンス: CIMC-SUP-B01 または CIMC-SUP-B01=
 - 最大 250 台までの管理対象サーバのライセンス: CIMC-SUP-B02 または CIMC-SUP-B02=
 - 最大 1000 台までの管理対象サーバのライセンス: CIMC-SUP-B10 または CIMC-SUP-B10=
- アドバンスド版サーバライセンス(最大 1000 台まで)
 - 最大 25 台までの管理対象サーバのライセンス: CIMC-SUP-A25 または CIMC-SUP-A25=
 - 最大 100 台までの管理対象サーバのライセンス: CIMC-SUP-A01 または CIMC-SUP-A01=
 - 最大 250 台までの管理対象サーバのライセンス: CIMC-SUP-A02 または CIMC-SUP-A02=
 - 最大 1000 台までの管理対象サーバのライセンス: CIMC-SUP-A10 または CIMC-SUP-A10=

注: 25 台のサーバパックおよび Advanced 機能は IMC Supervisor リリース 1.1 から利用可能です。

- IMC Supervisor の保守サポート(オプション)
 - 最大 25 台までの管理対象サーバのライセンスに対応: CON-SAU-CIMCSB25
 - 最大 100 台までの管理対象サーバのライセンスに対応: CON-SAU-CIMCSB01
 - 最大 250 台までの管理対象サーバのライセンスに対応: CON-SAU-CIMCSB02
 - 最大 1000 台までの管理対象サーバのライセンスに対応: CON-SAU-CIMCSB10

目標の達成を支援するシスコ キャピタル ファイナンス プログラム

Cisco Capital[®] ファイナンスは、目標を達成して競争力を維持するために必要なテクノロジーのご購入をお手伝いします。設備投資 (CapEx) の削減、企業の成長促進、投資と ROI の最適化を支援します。Cisco Capital のファイナンス プログラムにより、ハードウェア、ソフトウェア、サービス、および関連するサードパーティ製機器を柔軟に購入することができます。また、支払に関しては予測可能な単一の支払方法をご用意しています。シスコ キャピタルは 100 カ国以上でサービスを展開しています。[詳細はこちら](#) [英語]

関連情報

- [Cisco IMC Supervisor 2.1 ソフトウェア ダウンロード](#) [英語]
- [Cisco IMC Supervisor リリース ノート 2.1](#) [英語]
- [Cisco IMC Supervisor 2.1 インストール ガイド](#) [英語]
- [Cisco IMC Supervisor 2.1 管理ガイド](#) [英語]
- [Cisco IMC Supervisor API プログラマー ガイド](#) [英語]
- [Cisco UCS コミュニティ Web ページ](#) [英語]

©2017 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2017 年 3 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107 - 6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先